

NIIのコンテンツ事業紹介

2015.11.10

国立情報学研究所

学術基盤推進部学術コンテンツ課長

細川 聖二

大学などの学術研究・教育活動の連携・推進

大学と協働しつつ、研究・教育活動のための学術情報を確保・提供し、大学コミュニティの学術活動を支援

学術情報の公開・共有

- ◆ 学術情報流通と **オープンアクセス**の推進
- ◆ 大学の **機関リポジトリ** 拡充の推進



大学間連携支援

- ◆ 仕様統一したシステムによる **大学間連携、各種資源の相互利用の促進**



クラウド活用支援

- ◆ クラウド利活用促進による **大幅なIT経費削減・研究教育環境の高度化**



セキュリティ強化

- ◆ 暗号技術活用による **情報の保護、安全な認証**
- ◆ ネットワーク機能連携による **サイバーアタック対策**



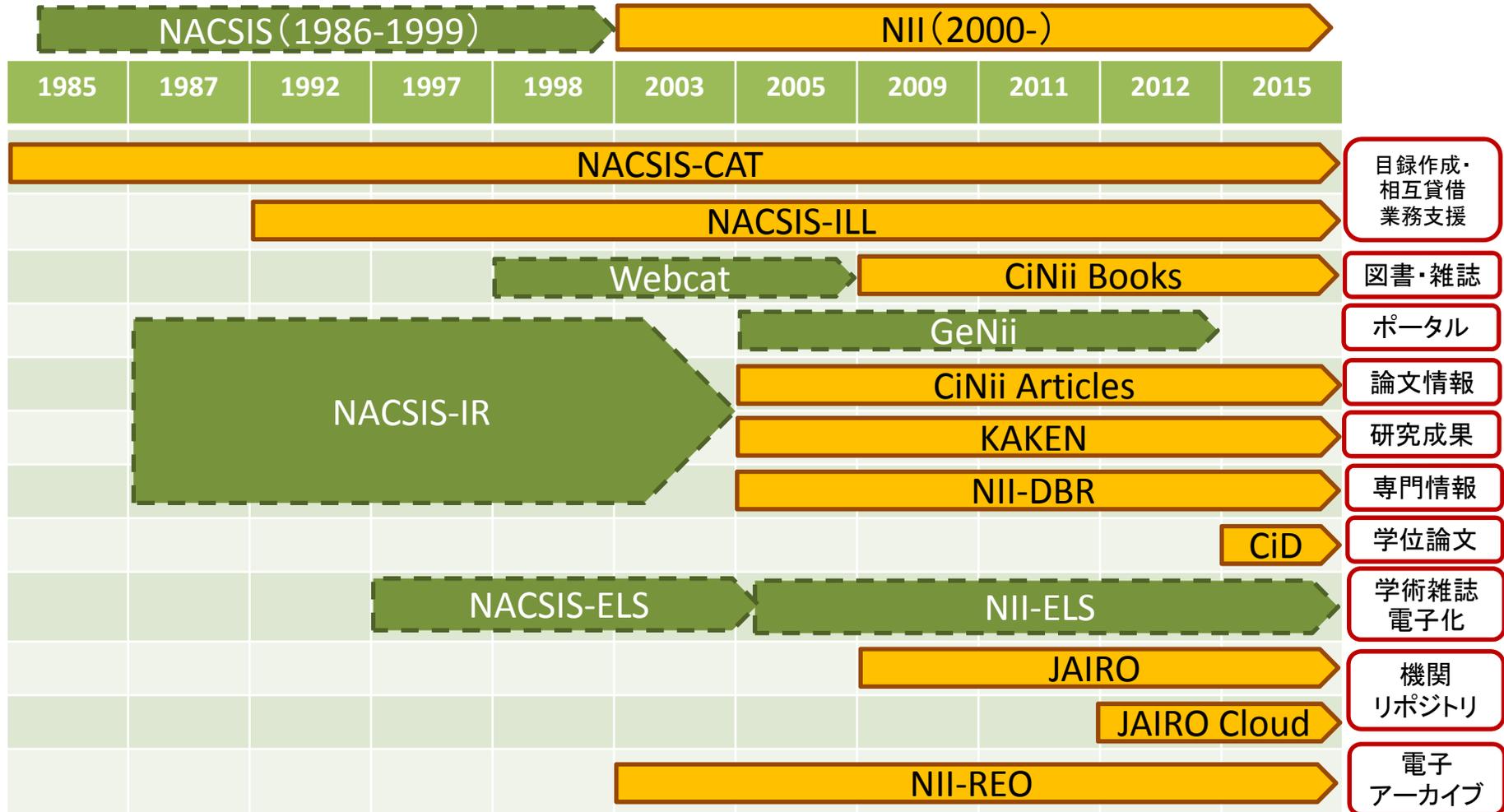
学術情報ネットワークの構築・運用

- ◆ 国内回線 **全国100Gbps化**と世界最速の400Gbps/1Tbpsへの対応
- ◆ 海外 (**米国・欧州・アジア**) との高速接続
- ◆ 多様化するニーズに応えるSDNなどの **最新ネットワーク技術の導入**



NIIのコンテンツ事業の沿革

これまで → 各資料種別・事業ごとにシステム構築・サービスイン



学術コンテンツ事業の現状

学術情報センター以来、30年に亘って、大学図書館等と連携しながら、多様な学術コンテンツを確保し、整備し、提供する事業を展開

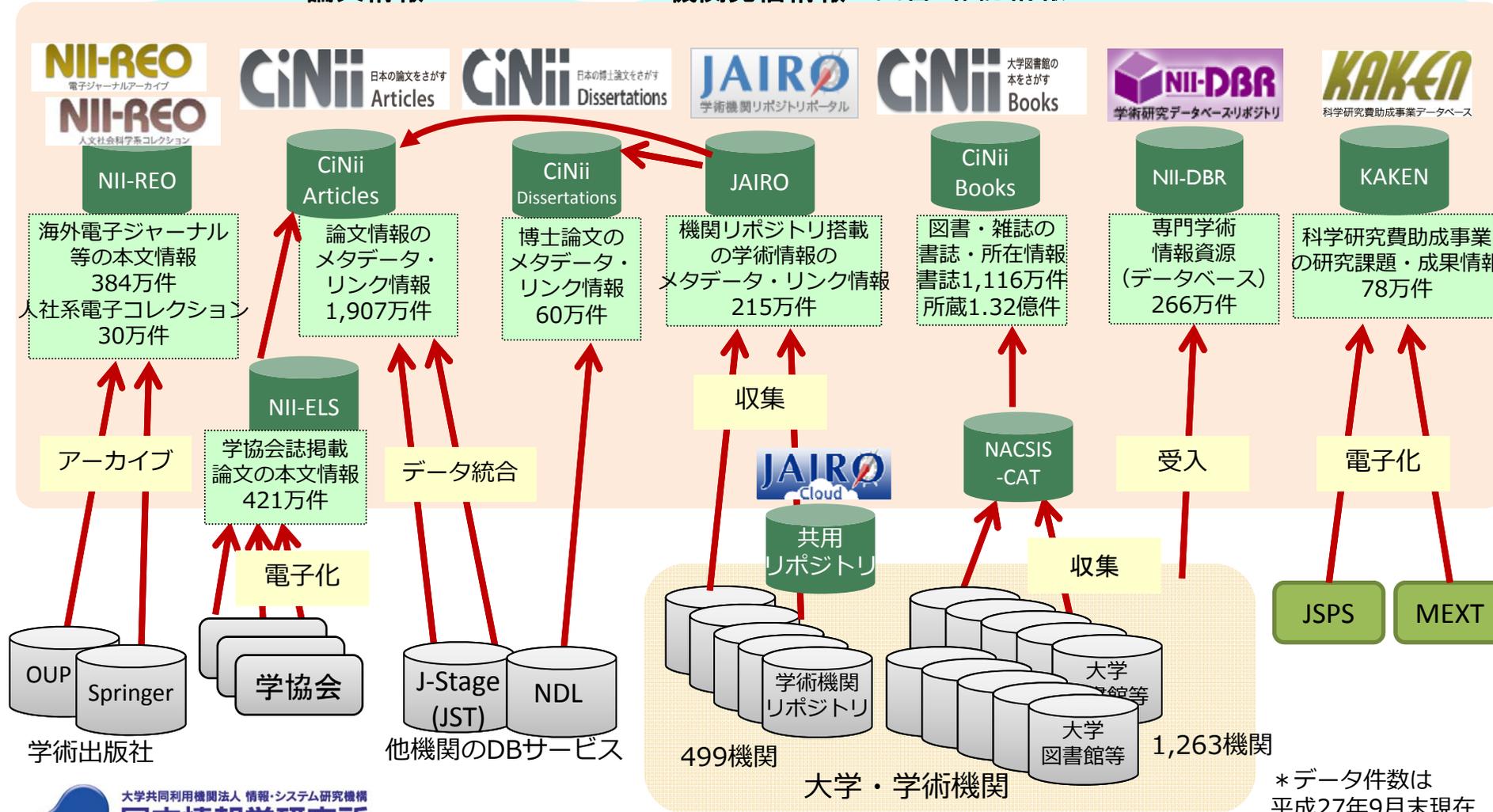
論文情報

機関発信情報

図書・雑誌情報

専門学術情報

研究情報



*データ件数は平成27年9月末現在

各サービスの課題

- CAT/ILL：システム及び業務の軽量化・合理化
- CiNii：サービスのフロントとして集中化・高度化
- JAIRO Cloud：重点事業の一方で運営体制（有料化含む）の整備
- KAKEN：JSTとの共同開発・連携を通じて研究助成成果の公開促進
- 教育研修事業：研修体系の見直しと大学図書館との分業化
- SPARC Japan：機関リポジトリやJUSTICEの活動との連携強化

事業体制

- 人的リソースの不足⇒大学との人的交流の促進、連携・協力体制の一層の強化

事業予算

- 学術情報基盤（SINET5）の一機能として一体的に予算要求

関係機関との連携とデマケ

- 大学図書館との関係：対等かつ強固な連携・協力関係の構築
- 他の情報関連機関（JST,NDL等）との関係：連携強化と役割分担の明確化

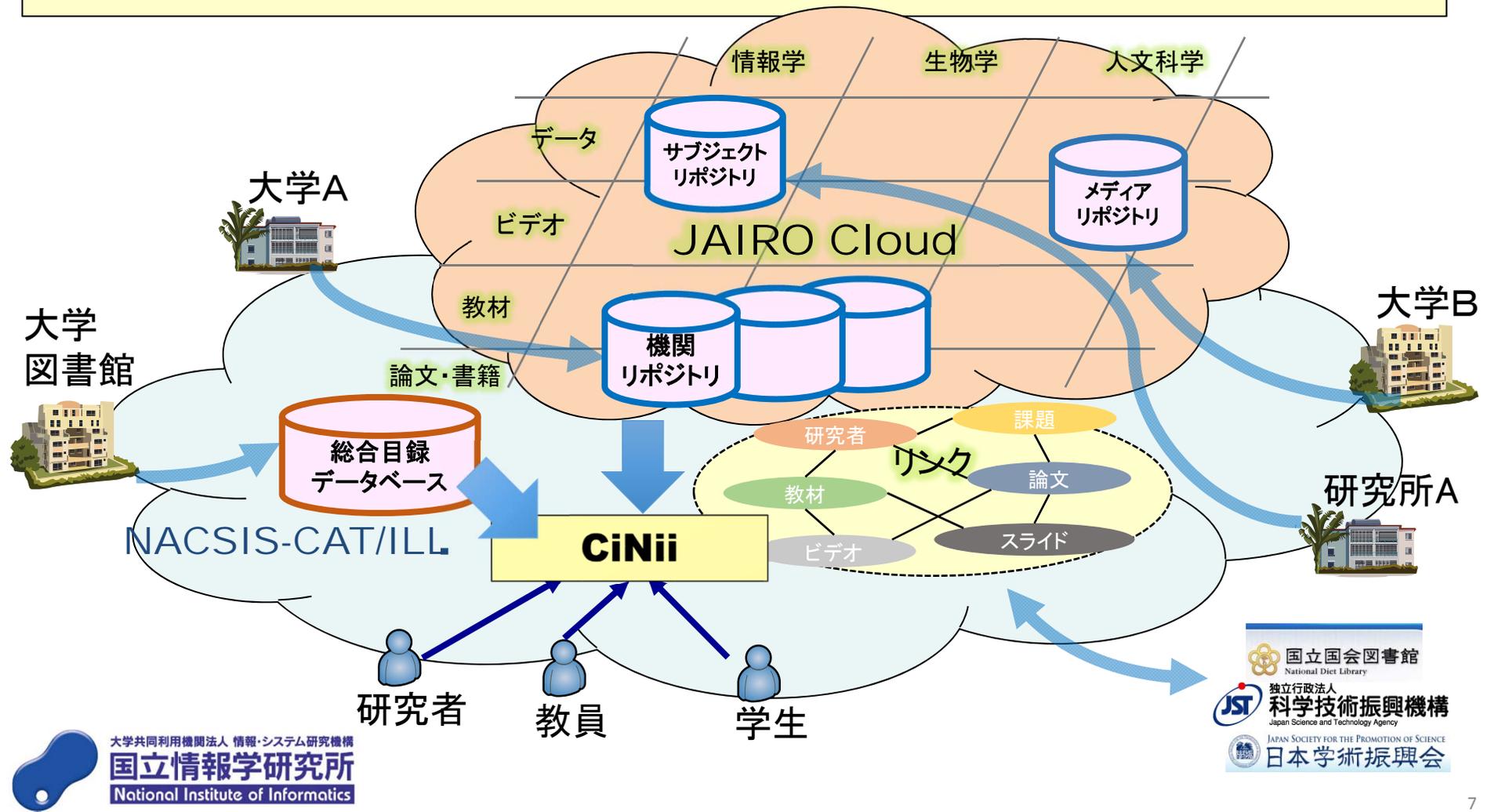
学術情報政策との関連

- 科学技術・学術審議会 学術分科会 第8期学術情報部会での検討状況
「学術情報のオープン化の推進について（中間まとめ）」（H27.9.11）

これからの学術コンテンツ事業のあり方

大学・大学図書館等と連携しながら、多様な学術コンテンツを確保し、整備し、提供する事業を展開

- ◆ JAIRO Cloudの拡充による多様な教育研究成果の収集
- ◆ NACSIS-CAT/ILLの再構築を端緒とした多様な図書館コレクションへのアクセス環境の整備
- ◆ CiNiiの高度化による多様な情報への統一アクセス手段の提供



(最後に) 学術コンテンツ課紹介

大学図書館の支援:
人材育成と国際連携

係長 係員 事務補佐員

支援チーム

吉田			
服部			

- 所掌事務
- ・課総括
 - ・SPARC Japan
 - ・教育研修事業
 - ・NII図書室

学術情報流通サービス
とメタデータ整備

課長

細川

副課長

高橋

学術コンテンツ整備チーム

上村	
齊藤	古橋

- ・NACSIS-CAT/ILL
- ・CiNii (A/B/D)
- ・NII-REO

研究成果の確保と
発信支援

研究成果整備チーム

片岡	纈纈		
前田	後迫		

- ・電子図書館事業(ELS)
- ・KAKEN等
- ・機関リポジトリ支援
(JAIRO, JAIRO Cloud)

コンテンツシステム開発室長
/図書室長

大向

特任研究員 特任技術専門員

コンテンツシステム開発室

蔵川	錠	募集中
----	---	-----

コンテンツ(リポジトリ)
基盤の高度化と開発

学術リポジトリ推進室長

山地

学術リポジトリ推進室

古川	加藤
----	----

職員構成 (平成27年11月現在)

承継職員	有期雇用職員	特定有期雇用職員
------	--------	----------